

沼津市総合計画審議会 ③快適・安心部会における意見のまとめ

第5章 まちづくりの柱2「ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち」

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
P11	リード文	「土地利用の適正化」という文言があるが、土地利用ができていない案件があるために記載しているのか。	中心市街地において、スポンジ化が進んでおり、平面駐車場や空き家等散在しているため、景観に配慮した土地利用をしていきたいと考えている。	

P11	①沼津駅周辺の整備	「鉄道施設跡地～都市拠点としての機能強化」は、沼津駅高架事業だけのことを意味しているのか。	鉄道高架事業だけでなく、沼津駅周辺総合整備事業によるものである。	市民からみると、沼津駅周辺の整備のメインは、鉄道高架事業であるので、「鉄道高架事業をはじめとする」を加える。
		沼津駅前の地下道については、利用者に高齢者も多く、昇り降りが大変なため早急に対応した方が良い。	対応として駅前の地上横断帯が考えられるが、関係機関との協議しながら、対応していきたい。	

P11	②都市骨格の構築とコンパクトなまちづくりの推進	市街地のスポンジ化が進むのが良くないのであって、「コンパクトなまち」だけだと、市街地が縮むような誤解を招く恐れがある。「コンパクト・プラス・ネットワーク」というフレーズの方が良いのではないか。	指摘を踏まえて修正を検討する。	表題を「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進」に修正する。
		必ずしも都市的居住圏が立地誘導する場所ではない。都市機能の立地誘導と書いてあるが、住宅地の立地誘導について書いてないのはなぜか。	都市機能の立地誘導については行政においてできることとして書いてあるが、住宅地の立地誘導については、市が都市機能を誘導するなかで、そちらに住みたいという意識が進むような公共施設等の誘導を進めるという意味合いを込めている。	
		バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正は、公共交通ネットワークの再編に含められるか？含むのであれば、言葉を検討した方が良いのではないか。	バスターミナルの整理や、バス待ち環境の改善、ダイヤ改正の他、沼津駅から放射状に伸びる路線の再編・集約、終バス以降のタクシーの活用なども公共交通ネットワークの再編に含む。	原案通りとし、具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。

P11	③既存ストックの活用	アーケードなどでの空き店舗に出店した場合への補助について、実施予定があるのであれば、文言を入れた方が良いのではないか。	H28 年度より民間支援まちづくりファンド事業において、まちづくりに資する施設整備等を対象とした支援を行っている。	具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
		リノベーションまちづくりが始まって4年間で、30件くらいの実績があると伺っているが、そのことをもっと前面に出せば、リノベーションを考える人が増えると思う。ただ、実施後、自立した事業として継続することが重要であると思う。	初期投資をなるべく抑えることなどで、継続性を持った取組みとなるよう推進していきたい。	

P11	④快適な住環境の整備	定住の促進に向けた新たな住宅地の創出とあるのは、岡宮北土地区画整理事業のことだと思うが、これから、当該事業以外で新しい住宅地を創る、開発することが難しいと思うので、表現は、過去形や現在進行形にした方がよいと思う。	岡宮北土地区画整理事業において、新たな住宅地が創出されることや、それ以外に中心市街地のスポンジ化の集約による新たな居住空間の創出も考えられるため、修正案を検討する。	「定住の促進に向けて新たな住宅地や居住空間の創出」に修正する。具体的な事業に関しては、基本計画の中で検討していく。
-----	------------	--	--	---

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
P11	⑤居心地よく 質の高い都 市空間づくり	鉄道高架に伴う鉄道跡地について、公園整備も検討してほしいと思う。また、高架下を保育園などに活用する等、若い人に利用できるようなものにしてほしい。	市民が活用しやすい施設が設けることができればと考えている。公園などの緑化空間の配置も含め、鉄道跡地の利用を検討していく。	
		沼津駅周辺の緑化については、高齢者の方が花壇の世話をしてくれていた（大手町の交差点など）が、現在は行われていないようだが。	高架後の駅前広場などには、緑化空間を配置できるように検討したい。また、緑化の取組については、地元と調整しながら再開できるか検討していきたい。	
		「まちのシンボルとなるような場所の緑化」と追記してもよいのでは。	緑の保全や緑化については、沼津市全体で取組むことで、美しいまちづくりにつながると考えている。	原案通りとし、具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
		「緑化の推進」の後に、「水辺の環境・水質の保全」を追加してはどうか。	水辺の環境・水質の保全については、沼津市全体の自然環境として取組むべき事柄であると考えている。	水辺の環境を含んだ自然環境や水質の保全については、柱8で記載する。

柱2以外のご意見

P16	柱 7－⑤ 安全で快適な交通社会	「歩行者や自転車利用者の安全に配慮した道路の整備」を「自歩道の整備」としてはどうか。	安全に配慮した道路の整備の一つの考え方と思われる。	原案どおりとし、安全確保のための具体的な事業に関しては、基本計画、推進計画での記載を検討する。
全体		SDGs17 の目標、Society5.0、BCP の策定など、まだ一般的に馴染みがないと思われる表現について、欄外、又は※でコメントしてはどうか。	他の箇所も含め、市民に分かりやすくするため、用語に関する注釈を記載する。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載する。